

まちの出来事

紋別消防団の新しい団長 伊藤消防団長辞令交付

紋別地区消防組合紋別消防団の新しい団長に4月1日、副団長だった伊藤正さんが就任しました。同組合管理者の宮川市長から辞令を受け取った伊藤さんは「皆の協力を得て、まず1期4年間をまっとうしたい。水害の多い元紋別の人間として、市民の防災意識向上にも力を尽くしたい」などと抱負を語りました。



交通事故死ゼロの日を目指すセーフティコール車両パレード 春の全国交通安全スタート

新入生や高齢者を交通事故から守ろうと、春の全国交通安全運動が4月6日、全国一斉にスタートしました。小学校入学式に初日を合わせて行われる運動で、紋別では町内会の協力による早朝街頭指導や、交通安全運動関係団体による車両パレードなどが行われ、住民に運動スタートを印象付けました。運動は15日まで10日間。

6日の車両パレードには、交通安全運動推進協議会の加盟団体などから40台60人が参加。交通安全旗や風船で飾り付けた車両が、海洋公園イベント広場駐車場から南が丘町本町、幸町、落石町、渚滑町を抜け、オムサロ原生花園駐車場までパトカーを先頭に模範走行し、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。

人材育成や社員研修など実践形式を学ぶ 新入社員セミナー

商工会議所主催の平成22年度新入社員セミナーが4月8・9日の2日間、経済センターで開催されました。講師に人材育成や社員研修などを行うプロ・アシスト代表取締役の後藤さんを迎え、今年新卒の社員や入社数年目の若手社員らが社会人の心構えや電話応対、挨拶などを実践形式で学びました。市役所や市内のホテル、観光サービス業、水産会社など17事業所から52人が参加しました。

前に着席。最初に学生と社会人の違い、会社組織の意義・意味について講義を受けました。後藤さんは、参加者らを次々に指名しながら社会人としてのルールやマナーなどについて質問と解説を行いました。



上藻別駅通保存会、国の「手づくり郷土賞」に輝く 手作り郷土賞認証伝達式

国土交通省の平成21年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」に選ばれていた上藻別駅通保存会に対する認定証伝達式が4月12日、博物館で開かれました。5年間に及ぶボランティアでの修復・保全活動が高く評価されたもので、現地視察も兼ねて来紋した北海道開発局の関克己局長から認定証を受け取った池澤会長は「鴻之舞の記念館を作ろうという思いで助け合い、本当に手づくりで取り組んできました。大きな励みの賞を頂き感激しています」などと喜びを語りました。駅通所は平成20年に文部科学省の有形登録文化財へ登録されていて、国からの



「認定」は今回が2回目。金八トンネル開通や高規格道路延伸など周辺交通網の整備も進んでおり、今後更に注目を集めそうです。

